

参考様式 4

鳥獣被害防止緊急捕獲等対策 事業評価報告

1 事業実施主体等

事業実施主体名	構成市町名	近隣市町村等の連携
小山町鳥獣被害防止対策協議会	小山町	(連携する市町) 駿東地区の市町村 (沼津市、三島市、清水町、長泉町、裾野市、御殿場市) (連携の内容) ニホンジカの管理捕獲等の連携と合わせ、意見交換等を実施した。

2 事業実施時期

- (1) 事業開始時期 平成25年 6月 1日  
(2) 事業完了時期 平成26年 3月31日

3 被害防止計画目標の達成状況

被害防止計画目標	基準年(年度)の実績値 A	目標値 B	目標年(年度)の実績値 C	達成率(%) A-C/A-B	備考
ニホンジカ	410千円 1000a	287千円 700a	2,051千円 185a	△1334.1% 271.7%	
イノシシ	1190千円 1100a	833千円 770a	1,796千円 152a	△169.7% 287.3%	
ハクビシン	90千円 120a	63千円 84a	188千円 26a	△363.0% 261.1%	
カラス	80千円 110a	56千円 77a	91千円 14a	△45.8% 290.9%	
合計	1,770千円 2,330a	1,239千円 1,631a	4,126千円 377a	△443.7% 279.4%	

※上段：被害金額、下段：被害面積

4 実施した事業の内容と効果

(1) 推進事業

事業内容	事業量	事業効果
個体数調整	イノシシ 19(18)頭 ニホンジカ 104(104)頭 ※( )内は成獣の内数。	捕獲実績は前年度を上回り、被害防止に寄与した。

(2) 整備事業

事業内容	事業量	管理主体	供用開始日	事業効果

5 総合評価

(コメント) 被害額、被害面積の把握方法を御殿場市・JA御殿場と協議の上、見直したことにより、昨年度より実績値が大幅にアップしたが、捕獲頭数は前年度を上回り、上記事業の成果もあり、H25の被害自体はむしろ減っていると考える。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後は、個体数削減を進めつつ、防護柵設置後の管理を徹底し、集落ぐるみでの防止対策を講じていく。

6 第三者の意見

(コメント)

捕獲頭数が伸びたことは、ニホンジカの被害対策としては望ましいことである。しかし、イノシシは捕獲だけで被害を防ぐことは困難であることから、防護柵の管理に対する支援を継続して行ってほしい。

(静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 森林育成科 片井祐介)

(注)：3の被害防止計画目標の達成状況については、被害防止計画の対象鳥獣ごとに被害金額と被害面積を記入すること。